

2021年度
地域創生科目
南木曾町研修報告

青山理子 牛木鈴 増田美蘭 三浦千尋

担当：吉富 志津代 協力：南木曾町

自己紹介

- 青山理子 世界共生学部
2年生 出身地：愛知県名古屋市
- 牛木鈴 世界共生学部
1年生 出身地：青森県八戸市
- 増田美蘭 世界共生学部
2年生 出身地：福井県鯖江市
- 三浦千尋 世界共生学部
2年生 出身地：愛知県刈谷市



AISIN

DENSO

2019年度の研修生から引き継いだこと

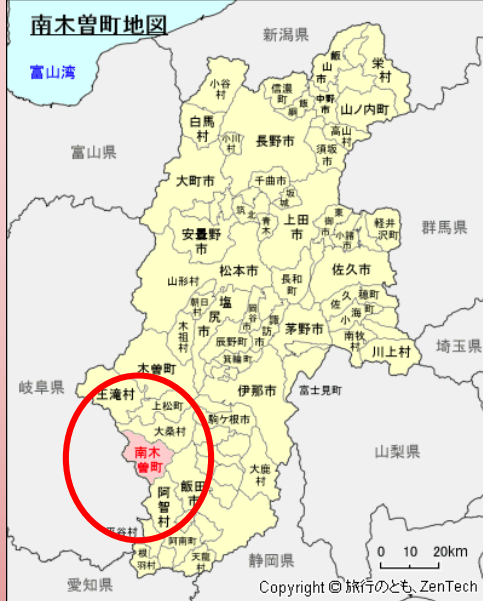
- 南木曾町7地区全てを見て回ること
- 妻籠宿以外の魅力地点が分かる地図をつくること
- 積極的に住民の意見を聞くこと
- アンケートでマイナス面も聞くこと

➡ コロナ禍で例年通りの活動が困難に

➡ 私たちが得た情報を基に、若い世代の観光客をターゲットにパンフレットを作り、南木曾町の観光誘致としての活動を実行

南木曽町について

- **位置**
長野県南西部木曽谷の南端（名古屋から約1時間）
- **人口**
約4,000人
- **名産品**
木工芸品（南木曽ろくろ）、蘭ひのき笠、南木曽ねこ



南木曾町について

移住者や若い人たちの声

- 現状に満足しているため、心の底から何か変えようとする行動が少ない
 - ↳ 住民同士の交流を増やす必要性
- コミュニティスペース（みんつく）をどのように有効活用するか
- 住民憲章は大切だが、解釈については新しい視点が必要なのではないか
 - ↳ 住民憲章「売らない・貸さない・こわさない」
- 伝統文化を引き継ぐほどの責任を担うことは大きすぎる
- 働く場所が多くない→南木曾町の外に移住・就職
- 名古屋から近い！！都会の生活を完全に諦めなくても田舎ライフが楽しめる♡

今回の目的

1. 2019年度の研修結果
2. 南木曾町の現状と課題
3. 今回（計3回）のフィールドワーク



パンフレット
作成！

- 若者が訪れる
- 今までにないデザイン
- 大学生（町外の人）から見た南木曾町の紹介
- 新たな魅力発信

パンフレット作成

- 12/7作成開始、オンラインミーティング
- パンフレットのターゲットを若者に絞るためには何が必要か、、、

私たちの存在を強く見せて親しみを持ってもらうこと

写真をメインにすること

インスタのQRコードをつけること

- 「食コース」、「自然コース」で分類する

南木曾町のご飯処が分かりにくい



好日珈琲

経営者 藤原昭次さん 藤原清楓さん

ソフトクリーム
とエスプレッソ
の相性抜群！！



アフオガード

旅行で南木曾に訪れた人が、
良い一日で過ごせるように

そばガレット

- 地産地消を意識している
- 美味しいものを提供している
- 公式インスタグラムも是非チェック！



季節限定ソフト

※2021年8月 ハチミツ塩レモンソフト

高橋溪流

～体験型の観光誘致～

経営者 高橋俊吾さん

- ・ 現地の方と交流することができます

私たちの釣った川魚を焼いてくださっているのが高橋さんのお父さんです

- ・ 緑に囲まれた環境で釣りやご飯が食べられます

南木曾の「自然」が最大限に活かされています



MAUKA LANI GOAT FARM

☆ヤギを育てヤギからチーズを作って販売☆

経営者：三輪亜希子さん

- ハワイの大学でアニマルサイエンスを研究
- ヤギのチーズは欧米人から人気
→南木曾町に外国人観光客を増やす一つの要因となるように
- コロナ禍ではオンラインでの販売開始



桃介橋

建立100年
の年です！

- 1922年に完成した橋
- 大正時代の歴史的な建築物で、保存と活用を目指している
- 南木曾駅側と学校がある側をつないでいる様子に青春を感じた



木地師の里ヤマイチ

木の仕入れから仕上げまで1人で作業を行うタフな仕事！！

材料の木は森林を伐採するだけでなく、工事で切った物を買いつたりもらったりしている。作業中に出た木屑は、また焼き物に使われたりするので無駄がない。

多くの種類の木を使っているので木目に特徴が出たり、木によっては甘い香りが漂ってくる。



小さいものから大きいものまで！！



中山道

- 江戸時代に使われた5街道の一つ
- 途中には休憩所があり穏やかな気持ちで、昔の人々はこんな風にして景色を楽しんでいたのかもしれないという気分を味わえる
- 木々に囲まれた中を歩いていくので、新鮮な空気や大自然を感じたりしてとてもリラックスできる



研修を通じて①

青山

- 南木曾町の多くの魅力を知った
→もっと多くの人に知ってもらいたい
- 観光地に訪れて楽しむと同時に経営者さんたちの貴重な話も聞いた
- パンフレットのコンセプトや構成を考えることが難しかった
→自分達がありのままに感じたことを基に作成

牛木

- どうやったら若い人々が南木曾町に訪れてくれるのかアイデアを考えること
→パンフレットのレイアウトや文章をどうするか
- 興味深い話を聞けたり、新しいことを豊富に学べた
→歴史ある町だからこそやりづらい部分もある

研修を通じて②

増田

- 南木曾町の魅力を発見した
- 経営者の熱い思いが伝わった
- パンフレットは大学生、若者目線で作成した
 - 写真が多く、見るだけで気持ちが高ぶるもの
 - 何度も訪れたいと思われるようなレイアウトや文章
- 観光する際の手助けになるようなパンフレット

三浦

- 新型コロナウイルスの影響を感じた
- 現状維持ではなく進化する
 - インタビュー
- その方々の思いが込められたパンフレット

次の研修生に引き継ぎたいこと

- 住民（事業者以外）のインタビューを実施する
- 南木曾町での生活を体験する
- 私達とは違う視点で、パンフレット第二弾を作成する
- 今回のパンフレットが観光誘致に効果的だったのか、観光客に有効なものだったかについて調査する
- パンフレット作成以外に、何か観光誘致の方法を探す
- SNSでサイトやアカウントを作るなど、目に付く方法を考える
- 新型コロナウイルスの感染拡大が収まり、観光業が盛んになった時に、どうやって南木曾町の観光業を盛り上げるか

ご清聴ありがとうございました！！

